

# 同窓会報

発行：2004年5月16日  
横浜市立南高等学校同窓会  
事務局：電話 045-712-1040  
FAX 045-743-4475

目次・南高同窓会について.....	1
南高50周年記念式典・祝賀会.....	2 3
活躍する同窓生・同期会レポート.....	4 5
平成16年度教職員移動.....	6
2003年度南高同窓会表彰・48期生幹事紹介・同窓会役員紹介.....	7
南高振興制度へのご協力をお願い.....	8

## 南高生が、好きなだけ勉強し、 好きなだけスポーツに励み、 好きなだけ感性を磨くための支援を !!



南高同窓会は毎年5月の第3日曜日に開催される定期総会や同期会・部活OB会の支援、会員名簿管理、会報発行及び母校記念行事参加が活動のベースになっています。

昨年創立50周年を迎え、卒業生18,558人の同窓会員と成り、その組織は「横浜市立南高等学校同窓会々則」により運営され、卒業時に納入する終身会費(10,000円)で運用されています。

しかしながら昨今の経済情勢の低迷等から苦学生は毎年増加傾向にあり、少子化による生徒数の減少も会運営の足枷となり財政的にも厳しい状況となっています。

昨年『南高スポーツ・文化・福祉振興助成制度』(通称・南高振興制度)を定め、在校生を対象に、スポーツ・文化活動をより高める

ための助成や、学費の支払いなどに苦慮する生徒への支援、加えて障害を持つ生徒への物心両面からの支援などを制度化(明文化)し、同窓会活動の大きな柱として位置づけています。

南高振興制度成立を機に、広く同窓生の皆様に資金援助(寄付)をお願いし、財政的基盤を強化・安定させ、在校生の豊かな学園生活を側面から支援し、スポーツ・文化・福祉活動を含めた母校貢献策をより一層充実させていきたいと考えています。

皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

南高校同窓会々長 松村 祥男



# 南高 創立50周年 記念式



神奈川新聞2003年(平成15年)11月9日号18面に南高50周年記念特集が組まれた。南高50年の歩みと青垣発行や南高祭での培われた伝統を紹介。さらに葛野校長の抱負、『南高振興制度』について松村同窓会々長との対談が大きく取り上げられた。(写真左)

記念式典・祝賀会の式次第は『横浜市立南高校PTAだより』第105号に詳しく掲載された。(写真下)

平成16年3月1日

横浜市立南高校PTAだより

第105号 (2)

## 南高創立五十周年記念

創立五十周年記念式典、祝賀会が、昨年十一月三十日(日)に南高体育館、南高ホールにて、千五百人を超える出席者で盛大に行なわれました。

### 第一部 記念式典(生徒対象)

会場 南高体育館

厳肅な空気の中、葛野校長・教育委員会の方・生徒代表の挨拶で式典は始まり、第七期卒業生、手塚プロダクション代表取締役の松谷孝征さんの記念講演に移りました。在学中の楽しい思い出話や、時代と共に変わっていくアニメの映像も交えながら、手塚治虫さんの生き方や残された業績、松谷さんが手塚治虫さんから学んだ事等をお話下さいました。最後に「いつも夢をもち、それに向かって努力して欲しい」と生徒達にエールを送って会場を去られました。

記念講演の後は、映像回顧「南高五十周年のエピソード」がスクリーンに映し出され、変化していく南高の姿に会場から幾度か驚きの声が上がるとても興味深い映像でした。

どのお話からも南高の一員である誇りを感じる事ができ、厳肅な中にも心温まる素晴らしい式典となりました。

### 第二部 記念式典(来賓対象)

会場 南高ホール

記念式典第二部は教育委員会理事・港南区長・県会・市議員、近隣自治会・後援会・同窓会・PTA等をお迎えして南高ホールで行われました。

来賓の方々のご挨拶、祝辞の後、第八代校長、川野寛嗣氏による「南高の思い出」と題する記念講演がありました。川野氏は副校長として校長として八年間南高に在職され、六年間改築に御尽力下さいました。

校舎改築検討委員会を作り連日夜遅くまで話し合いをしたこと。各町内会に出向いて説明会を重ねたこと。一万台以上のトラックの経路、騒音、埃等、



祝賀会で歴代校長による鏡開き

うとこ母たはは応南先のう  
事之脈之遊江正塚高事生様  
横 横 横 横 横 横 横 横 横 横  
濱 濱 濱 濱 濱 濱 濱 濱 濱 濱  
市 市 市 市 市 市 市 市 市 市  
立 立 立 立 立 立 立 立 立 立  
南 南 南 南 南 南 南 南 南 南  
高 高 高 高 高 高 高 高 高 高  
学 学 学 学 学 学 学 学 学 学  
校 校 校 校 校 校 校 校 校 校  
PTA PTA PTA PTA PTA PTA PTA PTA PTA PTA  
だ だ だ だ だ だ だ だ だ だ  
よ よ よ よ よ よ よ よ よ よ  
り り り り り り り り り り  
よ よ よ よ よ よ よ よ よ よ  
り り り り り り り り り り  
転 転 転 転 転 転 転 転 転 転  
載 載 載 載 載 載 載 載 載 載



# 典・祝賀会盛会裏に終わる!

立錐の余地も無いほどの会場に  
再会を懐かしむ同窓生の輪々々



祝賀会々場風景

## 我が人生の羅針盤—南高

神奈川県議会議員 桐生秀昭 (13期)



創立50周年おめでとうございます。

37年前の高校選択時、たまたま見た新聞記事に『市立総合体育大会で南高陸上部が総合優勝』の見出しに心踊り南高を受験、無事入学。

1年の3学期、担任の太田昇(後年、横浜市教育長)より「2年へ進級したら生徒会々長に立候補せよ」と推薦をうけ当選。陸上部では県で2位、3年時は槍投げで関東大会出場、頑健な体の基礎を築く。

大学入学と同時に南高同窓会の理事を引き受け

数年後副会長の要職に推され今日に至る。この時松村同窓会長、故山野井富三郎氏(県議会議員)との邂逅が政治への志しの礎となる。

社会人のスタートは南高の級友の紹介により(株)澁谷興業へのアルバイトから正社員に迎えられ33歳で取締役就任、その後代表取締役社長に昇進、中小企業経営の何たるかを徹底的に学び今日の政治活動に生かす。

一昨年、県議の内田稔先輩の急逝から後継に指名され昨年当選、政治家としての一步を踏み出す。

振り返れば私の人生の節目々に必ず南高があり、羅針盤のごとく人生の航路を見い出してくれた。

南高が無ければ現在の私はありません。これからも南高への思入れをさらに深めつつ母校の発展に尽力させていただきます。

創立50周年記念誌



# 活躍する同窓生・同期会レポート

## 南高・爽やかな気の風が吹く

手塚プロダクション代表取締役  
松谷孝征（7期生）

この原稿を引き受けたからでもないだろうに、この一ヶ月、やたらと南高の同窓生とのつき合いが重なった。

まずは私より2年先輩、5期の高橋英治さんだ。すでに40年以上のつき合いになる。定年退職し悠々自適(?)の生活をしている高橋さんに、小社も参加している日本動画協会(中間法人)の事務局への勤務の依頼だった。久しぶりに一杯やった。そこにやはり5期の富川洋さんが合流した。相変わらず酒癖が悪い。つきあう時は要注意!

富川洋さんは現在、社団法人金融財政事情研究会の理事をされており、腐れ縁とはこのことを言うのか、40年以上長きにわたりつるんで呑んできた。つい先日の4月24、25日と某私大の前総長らと、群馬の猿ヶ京にご一緒した。雪を戴く谷川岳を背景に、連翹、林檎、桃、桜と色とりどりの花が同時に咲き乱れる、北国特有の春景色と露天風呂を満喫、囲炉裏を囲み新鮮な川魚と山菜をつまみに、酒をくみかわし、語らい、至福の時を共有した。



猿ヶ京奥平温泉にて 筆者上左端・富川氏上左2人目

そしてゴールデンウィーク直前の28日、同期の斉藤汎司に会った。斉藤は日本テレビのコンテンツ事業局次長兼ライツ審査部長をしている。映像や出版のパーティなどではよく顔を合すのだが、斉藤は生きわめてマジメで、あちこち呑み歩くタイプではない。呑んだくれの私(仕事で仕方なく呑んでいる)とでは、特に理由でもないが、一緒に会食したりということがない。しかし先日は斉藤が今年で停年退職するというのを聞き、仕事ぬきで、たまには食事でもしようかということになった。場所は銀座の「銀圓亭」。知る人ぞ知る一流のレストランだ。じつは、この経営者の一人がやはり南高OB、5期の道向健さんだ。道向さんも、学生時代から間断なく今日までつき合いは続いている。そんなわけで、高級レストランに縁のない不似合いな私たちでも行けるのだ。

さてテーブルにつくやいなや、仰けからアニメの2次利用の配分料率がおかしいとか、映画の原作使用の著作権料が高すぎるとか、仕事の話なのだ。相も変わらずである。しかし、酒が入るうち少しずつ、高校時代の友人たちのこと、大学の頃の話やらに花が咲きはじめた。

そもそも斉藤とのつき合いは、1978年、日本テレビの「24時間テレビ」のスタート時、手塚治虫が2時間枠の初のアニメを引き受け、著作権局だった斉藤と私とで、契約内容を侃々諤々やっている最中、「なんだお前、南高の松谷か?」「そういうお前は、斉藤か?」とわかり、罅迫り合いから一転、和気合々の中で契約をとり交わすことから始まった。以来25年以上のつき合いになった。それが今や、停年を迎える歳になった。

高校時代、わずか3年、それも理系と文系とに分かれ(因に私は理系)めったに会話もなかった二人だが、互いに南高出身というだけで、以後何十年もつき合える。きっと南高にはそういう心や感情を育てる気の風が吹いているのかもしれない。

想えば、本当にいい高校にいたものだ、心の底から思う。

## 第4回「みなみの会」開催

### 『寒桜を觀賞する旅』

去る2月22日~23日、第4回「みなみの会」が伊豆高原青菱荘にて開催された。今回も出席者38名と盛況で、親睦と思い出に楽しい一夜を明かした。今回は伊豆河津の『寒桜を觀賞する会』で翌日伊豆高原駅から河津まで電車で行き、天気にも

## 「みなみの会」会長 蒲谷寿昭(6期生)

も恵まれ、早春の河津桜を十分堪能した。

この「みなみの会」は、南高6期生を中心に結成されたが、もちろん南高以外の卒業生も参加している。会結成の主旨は

私達はもう還暦を迎へ年寄りの仲間に入った!

歳を取るほどに次第に独りぼっちになり寂しい老後を送るようになる！

友達づくりをもう一度しよう！

これからは身近な友達と仲間をつくり楽しい老後を過ごそう！

こんな思いから平成2年に発足した。現在45名の会員を有し、横浜以外に、東京・群馬・高知などの遠方からも参加している。参加規約は、同世代で、主旨に賛同してくれる方なら何方でも参加できる。伊豆高原青菱荘は同期の村松君の厚意により手配頂き、貸切状態で誰に遠慮することなく、大いに踊り・飲み・歌い楽しんだ。

5月には、柴又帝釈天に行く予定。これからも益々友達を増やし、楽しく意義の有る老後を送るための「みなみの会」を継続していく。



伊豆高原青菱荘にて 筆者右から2番目

## 落語会『第10回神奈川華高座』をご後援いただいて

内野健雄（7期生・旧姓佐々木）



第10回  
神奈川華高座  
講演  
神田阿久鯉

私の所属する落語好きの集まり「グループ嘶道楽」と南高落語研究会OB会が主催する題記の落語会に、南高出身唯一の女流講師“神田阿久鯉(かん

だあぐり)”本名松井弓佳(昭和61年卒)が出演することになり、同窓会后援により、平成15年11月3日(祝)に横浜市西区公会堂大ホールにて無事に開催した。

母校創立50周年を祝って在校生全員を招待し、日本の古典大衆芸能を楽しんでもらおうと企画したが、宮本先生曰く「馬を水辺に連れて行く事は出来ても水を飲ませる事は出来ない」という結果に終わり残念。

しかし宮本先生はじめ南高関係者及び懐かしい同窓の方々を含め120名の参加者を得て大盛況のうちに無事終了出来た。これも一重に同窓会后援の賜と感謝に堪えない。これに懲りず又々色々な事を企画しますので今後ともよろしくお願い致します。

## 美術部OB会「南期会」 飲むだけでなく展覧会やろうヨ！

今秋に、第六回展を準備中

中里壽昭（6期生）

「酒を飲むだけでなく、展覧会でもやろうよ！」との声が、数年前のOB会でだされた。1期生あたりが還暦を迎えるころで、男はほとんどが会社人間、正直絵を画く余裕など全く無かった。それでも合評会では、油絵、水彩、パステル、染色、写真、パンフラワーなど様々な作品が集まった。浅見信夫先生の「これなら出来るよ」の一声で、会名も南高との一期一会をもちり『南期会』と命名。先生の記憶と微かな点と線を探りながら南高美術部の名簿づくり、それも2期から25期(先生の在任期間)まで。

平成8年に大船のギャラリーで第一回展、昨年は吉野町市民プラザで第五回展を開催。この間主催者だった田中忠雄(5期)氏の逝去と悲しい事

もあったが、パワフルな女性達の作品にリードされ回を重ねてきた。現在の出品者は3期から11期のメンバーですが、多くの方の参加を待ってます。今秋、第六回展開催予定。



# 平成16年度教職員移動

## 着任にあたって

新副校長 田村泰行



初めまして。この4月に横浜市教育委員会教育センター研究研修課から異動してまいりました。4校目の高等学校となります。ただ、今回は生徒と直接的にふれ合うことのない立場と言うことで少し戸惑っています。

着任してすぐ校舎内を見回りました。この素晴らしい施設環境で学ぶことのできる生徒は幸せであると思います。この施設をいつまでも維持していくということが課題となりそうです。また、施設だけでなくその他の環境も素晴らしいと外部から言ってもらえるよう副校長としてできることに力を入れていきます。

南高をさらに飛躍させるためにも、外部、特に中学校へのPRには力を入れてみたいと思っています。単位制高校になったことで入試の学区は横浜市内全域になりました。(学区外枠も8%あります。)特に全日制普通科の時には学区でなかった市内の中学校にも南高の情報を伝え、もっと知ってもらうことによって数多くの中学校から生徒が集まればと思っています。今までとは違った雰囲気になるかもしれませんが、そういうことが飛躍にもつながるはずです。

最後になりましたが、前大澤副校長と同じ様に、今いる生徒を将来の有効な社会人として育成するために最大の努力をしていきます。同窓会のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 転任にあたって

前副校長 大澤 寛



南高での2年間は毎日楽しく過ごさせて頂きました。南高の教育活動に松村同窓会々長はじめ菊地事務長らのご支援・ご協力に感謝いたします。

特に昨年の50周年記念行事を何事もなく同窓会の皆様とお祝いできたことをうれしく思います。1,000人を超える南高関係者が一同に会し、全ての方々満足してくれた式典・祝賀会ができたことは、南高教職

員の力そのものだと思います。学校関係者にも卒業生がけっこういます。先日訪問した中学校では、校長先生と教務主任がそうでした。一様に南高時代は勉強はそれなりに、行事や部活動が楽しかったと話されていました。今とほとんど変わっていません。これも伝統なのでしょう。

卒業した学校を母校といいますが、私は2年間しか通っていませんので呼べません、もう1年は最低でも通学し卒業できれば幸いです。その時こそ皆様と同様に南高を母校と呼ぶことをお許し下さい。

## 着任された教職員

副校長	田村 泰行	研究研修課から
事務長	稲垣 晴彦	国際理解教育等担当係長から
数 学	三好 恵	桜丘高校から
数 学	梅田 直樹	新採用
数 学	山田 直子	(臨任)戸塚高校から
英 語	宮田 佳枝	東高校から
英 語	北見 容子	横浜商業高校から
英 語	西村小百合	育児休業より復帰
情 報	石原 直人	港商業高校から
技術員	遠藤 静男	丸山台小学校から

## 転任された教職員

副校長	大澤 寛	桜丘高校副校長へ
事務長	千葉 一郎	研究研修課係長へ
数 学	仲手川公一	桜丘高校へ
数 学	日暮 裕	京都府立園部高校へ
英 語	星野 浩	戸塚高校へ
英 語	岡田ひろみ	(臨任)桜丘高校へ



南高HPより転載

# 2003年度 南高校同窓会表彰

## 個人表彰

氏名	学・組	部	表彰内容
峯村美由起	3年5組	弓道部	平成15年度第58回国民体育大会関東ブロック大会少年女子 個人出場
野口 真希	3年4組	弓道部	平成15年度第58回国民体育大会関東ブロック大会少年女子 個人出場
深水 敦子	2年3組	弓道部	平成15年度第58回国民体育大会関東ブロック大会少年女子 個人出場
井上 直紀	3年6組	陸上競技部	平成15年度全国高等学校総合体育大会 男子槍投げ 第6位 記録 61m11cm
間邊 喜一	2年6組	陸上競技部	平成15年度関東高等学校新人選抜陸上競技選手権大会男子走り高跳び 第15位 記録 185cm
増田 絵里	3年5組		第49回青少年読書感想文全国コンクール 優秀2席 (毎日新聞社横浜支局長受賞)
古山智賀子	3年6組		第49回青少年読書感想文全国コンクール 優秀2席 (毎日新聞社横浜支局長受賞)

## 団体表彰 弓道部

平成15年度 第3回東日本高等学校弓道大会 女子団体戦 出場  
山崎志帆2/5、深水敦子2/3、澤田瑛美2/4、小島佑佳2/6、白井里美2/3、沼田真由子2/2、権藤愛2/6、畑絵里香2/4 以上8名

平成15年度 第48回全国高等学校弓道大会 女子団体戦 出場  
峯村美由起3/5、林美歩3/3、深水敦子2/3、野口真希3/4、畑絵里香2/4、山崎志帆2/5 以上6名

平成15年度 第47回関東高等学校弓道大会 女子団体戦 優勝  
峯村美由起3/5、野口真希3/4、林美歩3/3、深水敦子2/3、以上4名

## 同窓会役員紹介

役職	分掌	卒年	期	氏名
会長	統括	32	1	松村 祥男
会長代理	会長補佐	36	5	小後摩 基
副会長	50周年担当	38	7	田代 稔
副会長	50周年担当	44	13	桐生 秀昭
事務長	事務総括	45	14	菊地 晶江
理事	総務担当	32	1	阪柳 定男
理事	母校担当	36	5	大橋 一博
理事	母校担当	36	5	笠原 靖幸
理事	地域担当	37	6	鈴木 豊
理事	会報担当	37	6	蒲谷 壽昭
理事	母校担当	37	6	山野井正郎
理事	地域担当	38	7	保阪 努
理事	地域担当	41	10	岩田 力
理事	会報担当	41	10	工藤 昌代
理事	広報担当	43	12	青木 幸夫
理事	会報/会計担当	44	13	岩本しのぶ
理事	会報担当	44	13	尾崎 由朗
理事	総会担当	45	14	吉岡 恵子
理事	名簿担当	45	14	井上 幸子
理事	情報システム担当	49	18	岡野 光延
理事	母校担当	50	19	菱刈 範之
理事	総務担当	51	20	武山 繁
理事	情報システム担当	H-13	45	只木 聡
理事	総会担当	H-11	43	田村 勇人
会計監査		45	14	樋口 勝軌

## 48期生幹事紹介

クラス	氏名	
1	遠藤 優介	
	山崎 智恵	
2	山岸 由佳	
	加島 由比	
3	熊倉明日香	
	和田 隆宏	
4	藤川 智生	
	下藤 香織	
5	高橋 尚基	
	玉手 由佳	
6	上原 哲哉	
	沼尾 ゆい	

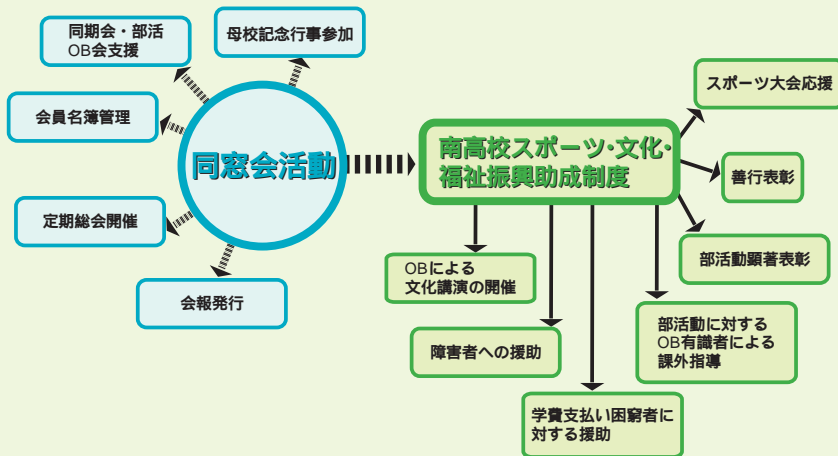
# 「南高校スポーツ・文化・福祉振興助成制度」(南高振興制度) へのご協力をお願い!!

あなた(南高同窓生)の心を!

あなた(南高同窓生)の手で!

あなた(南高同窓生)の力で在校生へ支援を!

## 南高振興制度の位置付け



南高振興制度にご理解ご協力頂ける方は、浄財を下記によりお振込み頂きたくお願い申し上げます。

振込み方法：郵便局または別紙「郵便局振込用紙」による

口座番号：00270-0-50174

名義：横浜市立南高等学校同窓会

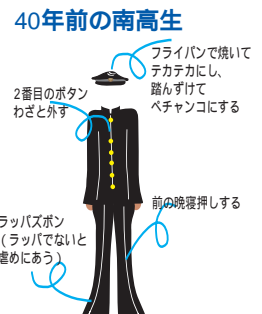
その他

- 1.お一人2,000円以上でお願い出来ればと思っております。
- 2.お振込みに際し、お名前(併せて旧姓も)・ご住所・卒業生の方は卒期をお書き下さい。
- 3.振込み手数料は、専用郵便局振込み用紙の場合、同窓会で負担致します。
- 4.制度の詳細をお知りになりたい方、振込み用紙が必要の方はFAXでご連絡下さい。

事務取扱責任者 同窓会事務局 事務長 菊地晶江 FAX：045(743)4475

## 消えたガクラン

### 閑話 40年前の南高生



「制服は自由を奪うものではなく、学ぶ権利を守るもの」と名言を吐いたのは、リチャード・G・ヴァンダーラン(カリフォルニア教育委員会)。明治新政府は、日本の近代化と「全て平等」「集団組織の確立」という二面性を満足させる目的で、学生に制服着用を義務付けた。その意義は「防護性」「機能性」「審美性」「象徴性」からである。しかし、黒の詰め襟を採用した理由が「日本の将来を担う貴重な人材」ということで、軍服(下士官以上は詰め襟)からデザインをまねたとは如何がなものか。戦後の平和憲法下、何十年もこの制服制度に何の疑問も抱かず見過ごされて来たとは沈魚落雁の驚き。昭和40年代中頃、学園紛争の嵐が全国を吹き荒れる中、制服廃止に踏み切る高校が出初め、この頃から序々にガクラン姿の高校生を見ることが少なくなってきた。今想えば、3年間も袖を通してテカテカになるまでお世話になったガクランに郷愁を抱きつつ、正直これが軍国主義に繋がるものか解らない。卒業式の日、ガクランの第2金ボタンを一番大事な人に渡しそびれたことが、南高時代の悔いだらう。

編集後記

(10期)工藤二郎(有)早社社代表取締役